

【尾鷲市市制 70 周年記念市勢要覧】

# 尾鷲

owase

住みたいまち  
住み続けたいまち  
おわせ





# 住みたいまち 住み続けたいまち おわせ

## 目次

住みたいまち 住み続けたいまち おわせ .....	1
おわせS E Aモデル構想 .....	3
ゼロカーボンシティ宣言 .....	5
熊野古道世界遺産登録20周年 .....	7
暮らす、旅する尾鷲MAP .....	9
こだわりの尾鷲の特産・名産 .....	11
尾鷲市の70年を辿る .....	13
安心して生み・育て・暮らせるまちを創る .....	15
安全で快適に暮らせるまちを創る .....	17
人々が集い、活力溢れるまちを創る .....	19
郷土を愛し、学び・伝えるまちを創る .....	21





尾鷲市

市章

「オ」と「鷲」を図案化。大空にはばたく大鷲は市運の上昇・飛躍・発展を意味し、全体の円は円満和合の相を示しています。



市の鳥

アオサギ **繁栄**

尾鷲湾内の佐波留(さばる)島で生息。アオサギの繁殖は、尾鷲の海の豊かさ、きれいさの象徴でもあります。



市の木

ヒノキ **伝統**

ヒノキの育成や製材技術は、尾鷲市の伝統産業。尾鷲ヒノキは年輪が緻密で耐久性にも優れていると高い評価を得ています。



市の花

ヤブツバキ **情熱**

冬から春にかけて咲き、主に沿岸部に自生しています。濃い緑の葉と赤い花の組み合わせが南国的で尾鷲の温暖な気候にもよく合います。



市の魚

ブリ **発展**

熊野灘では冬から春にかけて産卵のために南下するため、定置網漁が古くから盛んです。またブリは出世魚の代表でもあります。



おわせ  
SEA  
モデル

集客交流人口の拡大

*Service*

都市公園をはじめとする、  
集客交流人口の拡大



新たなエネルギーの活用

*Energy*

再生可能エネルギーを活用した新たなエネルギー  
の創出



新たな産業で雇用の創出

*Aqua/Agriculture*

尾鷲の恵みと新たなエネ  
ルギーの有効活用で新ビ  
ジネスの創出



「新たなエネルギー」と  
「豊かな自然の力」で  
産業、観光、市民サービス  
を融合した拠点を創ります



# サービス・エネルギー・産業がつながる 画期的なまちづくりを

## 「ふるさと尾鷲」を新たなビジネス拠点に

尾鷲市、尾鷲商工会議所および中部電力(株)が尾鷲三田火力発電所の跡地を「新たなエネルギー」と「豊かな自然の力」で産業、観光、市民サービスを融合した拠点として、人々が集い活気あふれる「ふるさと尾鷲」を目指します。

具体的には、国市浜公園整備において、令和7年度末の野球場の建設に向け、鋭意取り組みを進めているほか、企業誘致活動による産業振興や雇用創出の促進を図り地域経済の活性化を推進しています。

おわせ SEA モデル  
の詳細はこちらの  
サイトをチェック

<https://www.owase-seamodel.jp>

おわせ SEA モデル

検索



## 農

### 業での環境価値創出

#### ●オーガニックビレッジ宣言

国が推進する「みどりの食料システム戦略」に基づく「有機農業産地づくり事業」に取り組む中で、三重県内で初めてとなる「オーガニックビレッジ宣言」を行いました。

有機栽培の推進による化学肥料、化学農薬の使用低減化などに、甘夏農家を中心に取り組み、オーガニックマーケットの開拓を進めています。



▲市制施行時に構想された今も続く尾鷲甘夏

## 林

### 業での環境価値創出

#### ●みんなの森プロジェクト

九鬼町頂山の市有林91haにて、歴史と伝統ある尾鷲ヒノキ林業の継承のために、二酸化炭素吸収の促進と、生物多様性を回復させる森林整備による環境価値を創出し、林業の継続を新しい仕組みで推進する挑戦を行っています。



▲みんなの森の土壌改良・水脈づくり作業

## 漁

### 業での環境価値創出

#### ●生物多様性への貢献

藻場は二酸化炭素の吸収源としての機能だけでなく、沿岸生態系において多様な機能を果たします。水生生物の産卵や隠れ場として、幼魚等の成長を助け、また、水中の有機物を分解し、炭酸ガスの吸収、酸素の供給など、生物多様性にも大きな役割を果たしています。



▲繁茂した藻場に産み付けられたアオリイカの卵

繋ぐことに挑戦していきます

資源を、持続可能な形で次代に

尾鷲市は、海・山・里の貴重な



# 100年後にこの美しいふるさと尾鷲を引き継ぐために

～ 22世紀に向けたサステナブルシティの実現を目指して～

九鬼町にある市有林「みんなの森」

## ネイチャーポジティブなまちづくり

近年の地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響は、世界中で深刻な自然災害を引き起こし、また、わが国においても、ゲリラ豪雨などにみられるこれまでにない規模での大雨や大型台風など異常気象が多発しており、私たちの生活に大きな影響を及ぼしています。

さらに、この気候変動は生物多様性に複雑に絡みあい、地球規模での生態系に大きな影響を与えています。このことは、紺碧の海、緑深い山々に囲まれ、海の幸、山の幸にめぐまれた本市においても例外ではありません。

私たちは、100年後にこの美しいふるさと尾鷲を引き継ぐために、令和4年3月1日に、「尾鷲市ゼロカーボンシティ宣言」を行い、22世紀に向けたサステナブルシティの実現を目指していきます。

### ▼ゼロカーボンシティ宣言



尾鷲市ゼロカーボンシティ宣言では、カーボンニュートラルを図りながら、第一次産業のフィールドにカーボンクレジットや生物多様性活動の推進など、特に企業等に対する新たな環境価値を見出し、既存の事業フレームでは得られない資金循環の仕組みを目指しています。

第一次産業での環境価値の創出



## 熊野古道伊勢路

世界遺産登録 20 周年

### ■馬越峠道

一面、シダに覆われた尾鷲ヒノキの美林の中に、約2kmにわたって苔むした石畳道が続きます。



### ■八鬼山道

巡礼者たちに「西国一の難所」といわれた八鬼山(標高627m)。かつては山賊や狼も出現して旅人を苦しめたといいます。



### ■三木峠・羽後峠

入り江の集落、三木里と賀田を結ぶルートで、海岸線を行く国道311号を見下ろしながら歩く眺めのいいコースです。



### ■曾根次郎坂・太郎坂

尾鷲と熊野の市境にある甫母峠は、曾根次郎坂・太郎坂とも呼ばれており、生い茂るヒノキの合間からは、美しい賀田湾の景色が見られます。



尾鷲市は、さまざま活動を通して、熊野古道を未来に繋がる道として守り続けます



# 尾鷲に残る

いにしえ

# 古の道熊野古道

**馬越峠道**  
まこせとうげみち  
一面、シダに覆われた尾鷲ヒノキの美林の中に、約2kmにわたって苔むした石畳道が続きます。途中の夜泣き地蔵や馬越一里塚、峠の可涼園桃乙句碑など史跡も多くあります。  
峠の東には尾鷲を一望する天狗倉山へのハイキングルートが通っています。峠を下った馬越公園は桜の名所です。

## ■ 世界遺産登録 20 周年からその先へ

市では、今後も古文書や実地踏査などによる熊野古道の学術調査に取り組み、埋もれてしまった古道の歴史を掘り起こし、紹介することが未来へ語り継いでいけるよう取り組みま

### ▼ 発見された町石の破片

平成27年1月17日に、町石の破片が発見されました。



### ▲ 修繕された八鬼山荒神堂

平成30年7月27日から市民の方々を中心とした荒神堂改修プロジェクトが立ち上がり、令和元年9月に修繕が実現しました。



## ■ これまでの歩み

世界遺産登録10周年以降、八鬼山道では三重県指定有形民俗文化財で一町(約109m)ごとに目印として置かれた町石(八鬼山道では町石として地蔵尊が点在する) 35基に、新たに2基と既存の町石の破片も発見されて、後に追加指定されました。

さらには地元有志の協力によって八鬼山荒神堂の修繕がなされました。町石の追加指定と発見によって埋もれた歴史が再発見され、また、荒神堂が修繕で生まれ変わったことによって、史跡の保全と継承がもたらされました。





3 玄工山



4 夢古道の湯



5 天狗倉山



6 尾鷲神社



7 アクアステーション

尾鷲市 HP 観光 MAP 二次元コード

尾鷲市の主要観光スポットをご覧ください。  
だけです。ぜひご利用ください。





尾鷲わっぱ

素性のよい尾鷲ヒノキ材を板に割り、水に浸けて柔らかくしてから曲げ、桜の皮で継ぎ目を閉じ、漆を塗ります。純粋な漆はヒノキ材によく浸み、剥離することはありません。平成6年には三重県指定伝統工芸品に認定されています。

こだわりの  
尾鷲の特産  
名産



マハタ

幻の高級魚と呼ばれています。コラーゲンが豊富でもっちりとした歯ごたえが非常に強く、加熱しても身崩れしません。歯ごたえは長持ちし、ドリップが少ないのも特徴です。



カツオの生節

三枚におろしたカツオをいぶしてつくる東紀州の伝統食。身をけずって尾鷲市の特産品、くき漬けと一緒に食べるもよし、マヨネーズ醤油や一味唐辛子にあわせるもよし、楽しみ方は様々です。



虎の巻

九鬼水軍発祥の地、九鬼町で明治時代から作られてきた伝統銘菓。ふわふわのカステラ生地になめらかなこしあんが巻かれており、ほどよい甘さが人気です。



くき漬け

くき漬けは八つ頭(サトイモ)の茎の部分を赤しそで漬けた地域特産の漬物。程よい酸味とシャキシャキした食感で夏の暑さを乗り切るのに最適です。



あぶり

あぶりとは、獲れたての新鮮な魚を桜や榎の生木でくん製したものをいいます。梶賀町で昔から伝わる製法で作られてきたこのあぶりを一度口にしてみると、燻製特有の香ばしい風味としっかりとした歯ごたえ、後を引く美味しさが広がります。



虎の尾

形が虎のしっぽに似ていることから「虎の尾」と名付けられた地域特産の刺身唐辛子です。辛みがあり、熏り高いため、魚の臭みを消す効果もあります。また、密封で冷凍保存すると長期保存も可能です。



カラスミ

日本三大珍味の一つとも言われるカラスミ。ボラの卵巣を丁寧に血抜きして塩漬けし、天日で二週間ほど干します。干している間は一時間に一回ひっくり返さなければならないほど、手間隙がかかっています。



尾鷲甘夏

太陽と海の恵みを受けて育つ甘夏は、「尾鷲甘夏」として知られており、うまみが凝縮され、甘みと酸味のバランスが絶妙で、さわやかな味わいが特徴です。



尾鷲市 HP  
ふるさと納税  
二次元コード

尾鷲市では「住みたいまち 住み続けたいまち おわせ」をスローガンに掲げ、地域づくり・まちづくりをすすめています。ふるさと納税は、「ふるさと・尾鷲」に貢献したい、応援したいという皆さまの思いを生かすための制度です。皆さまのあたためたいご支援をお待ちしております。



ふるさと納税

尾鷲市観光物産協会のホームページにて、名産・特産品など市内の物販情報を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

出展：<https://owasekankou.com/category/buy/>



# 尾鷲市の

# 70年を辿る

- ▼昭和29年 6月20日 北牟婁郡尾鷲町、須賀利村、九鬼村、南牟婁郡北輪内村、南輪内村が合併し「尾鷲市」誕生  
市長に畦地表市氏が当選
- 7月22日 公募により市章制定
- 8月4日 市消防本部を設置、常備消防態勢整う
- ▼昭和30年 4月1日 市消防本部を設置、常備消防態勢整う
- 8月25日 国民健康保険を全市に実施
- ▼昭和31年 2月10日 尾鷲港が三重県遠洋漁業基地に指定される
- ▼昭和34年 4月1日 二級国道170号線「松阪―和歌山市」は、一級国道42号線「津市―和歌山市」として昇格  
紀勢本線が全線開通
- 7月15日 北山道路（尾鷲―池原間）開通
- 2月 チリ地震津波襲来
- 5月24日 市長に岩城悌氏が当選
- ▼昭和36年 2月14日 市庁舎完成
- 8月31日 電源開発尾鷲第二発電所完成
- 9月27日 尾鷲三田火力発電所及び東邦石油が完成
- ▼昭和37年 7月31日 尾鷲港が開港指定を受ける
- ▼昭和39年 12月4日 国道42号矢ノ川トンネル貫通
- ▼昭和41年 4月1日 尾鷲港が重要港湾に指定される
- ▼昭和42年 4月27日 尾鷲港が重要港湾に指定される
- 6月1日 尾鷲市総合グラウンド・市体育文化会館完成
- 7月15日 カナダ・プリンスルパート市と姉妹都市提携
- ▼昭和43年 9月26日



平成2年

「尾鷲市天文科学館」完成



昭和46年

三重県南部集中豪雨



昭和34年

紀勢本線全線開通

- ▼平成13年 4月6日 熊野古道が「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産暫定リストに登録される
- ▼平成14年 4月24日 東海地震の強化指定地域に指定される
- ▼平成15年 3月28日 紀北作業所向井分場完成
- 6月8日 尾鷲市国際交流協会設立
- 11月8日 第1回熊野古道まつり開催
- ▼平成16年 4月30日 まちかどHOTセンターがオープン
- 5月16日 第20回全国尾鷲節コンクール・優勝者フェスティバル開催
- 6月20日 市制50周年記念式典開催
- 6月28日 三木浦マリナーパーク完成
- 7月7日 熊野古道が「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録される
- ▼平成17年 10月20日 第1回おわせ海・山ツアーオーク開催
- 1月16日 市制50周年記念「NHKのど自慢」開催
- 3月31日 尾鷲市防災センター完成
- 5月11日 奈良県上北山村との災害相互援助協定に調印
- ▼平成18年 3月31日 海洋深層水取水・分水施設「アクアステーション」完成
- 7月1日 海洋深層水活用型工業団地に海洋深層水飲料工場が完成
- ▼平成19年 12月25日 尾鷲市クリーンセンター完成
- 2月10日 向井地区に三重県立熊野古道センター完成
- 3月25日 尾鷲総合病院に透折棟が完成
- 4月28日 地域振興ゾーン夢古道おわせに地場特産品情報交流センター完成
- 7月6日 中国大連市金州区と友好協力都市協定を締結
- 7月16日 古江小学校校舎を利用し、おわせ深層水塩学舎株式会社製の製塩工場が完成
- ▼平成20年 2月14日 矢浜浄水場新施設完成
- 4月8日 夢古道おわせに海洋深層水活用型温浴施設「夢古道の湯」完成
- 4月17日 市長に奥田尚佳氏が当選
- 4月20日 熊野尾鷲道路（尾鷲南IC～三木里IC）開通
- 7月26日 市長に岩田昭人氏が当選
- ▼平成21年

- ▼昭和44年 6月17日 尾鷲総合病院完成
- ▼昭和46年 4月1日 三重紀北消防組合発足
- ▼昭和47年 9月10日 三重県南部集中豪雨
- ▼昭和50年 10月1日 尾鷲地区広域行政事務組合設立
- ▼昭和51年 10月2日 市長に長野勝明氏が当選
- ▼昭和51年 6月10日 尾鷲消防署庁舎完成
- ▼昭和51年 3月31日 塵芥焼却場・不燃物投棄場完成
- ▼昭和54年 6月20日 名誉市民に長野泰一医学博士
- ▼昭和55年 6月19日 尾鷲市立中央公民館完成
- ▼昭和57年 6月20日 県道須賀利港相賀停車場線開通
- ▼昭和60年 6月9日 第1回尾鷲節コンクール開催
- ▼昭和62年 6月19日 尾鷲三田火力発電所3号機運転開始
- ▼昭和63年 4月17日 市長に杉田晴良氏が当選
- ▼平成元年 6月6日 市制35周年を記念し、市の花・鳥・木・魚を公示
- ▼平成2年 2月2日 尾鷲市民憲章を制定
- ▼平成4年 10月24日 ふるさと創生1億円事業で尾鷲市立天文科学館が完成
- ▼平成4年 4月20日 「三木里野鳥の小径」、「ふれあいマリノロード」完成
- ▼平成5年 10月25日 八鬼山トンネル開通
- ▼平成5年 4月24日 尾鷲市民文化会館「せぎやまホール」完成
- ▼平成5年 5月30日 大曽根公園完成
- ▼平成6年 5月18日 東紀州活性化協議会が県と東紀州8市町村で発足
- ▼平成8年 4月20日 尾鷲市立総合病院新棟完成
- ▼平成9年 11月6日 八鬼山、馬越峠が「歴史の道100選」に選ばれる
- ▼平成9年 7月26日 尾鷲ひのきプレカッタ工場完成
- ▼平成11年 3月27日 輪内高齢者サービスセンター完成
- ▼平成11年 4月18日 東紀州体験フェスタ開幕
- ▼平成12年 10月1日 尾鷲ヒノキ内装材加工協同組合完成
- ▼平成12年 3月1日 紀北広域連合介護保険センター完成
- ▼平成12年 3月26日 市長に伊藤允久氏が当選
- ▼平成12年 8月28日 福祉保健センター完成

平成20年



「夢古道の湯」完成

令和4年



「ひのきっここども園」開園

令和6年



尾鷲市オーガニックビレッジ宣言

- ▼平成24年 1月24日 「須賀利大池及び小池」が国の天然記念物に指定される
- ▼平成25年 3月29日 尾鷲小学校新校舎完成
- ▼平成25年 3月21日 早田コミュニティセンター完成
- ▼平成25年 5月19日 皇太子殿下行啓(馬越峠ほか)視察)
- ▼平成25年 9月29日 熊野尾鷲道路(三木里IC)熊野大泊IC)開通
- ▼平成25年 12月12日 輪内中学校新校舎完成
- ▼平成26年 3月30日 紀勢自動車道が全線開通
- ▼平成26年 6月22日 市制60周年記念式典開催
- ▼平成26年 7月7日 熊野古道が世界遺産登録10周年を迎える
- ▼平成27年 6月3日 尾鷲小学校中村山遊難路完成
- ▼平成28年 2月17日 南輪内センター・曾根コミュニティセンター完成
- ▼平成29年 3月11日 矢浜保育園完成
- ▼平成29年 1月1日 尾鷲港が開港でなくなる
- ▼平成29年 2月22日 夢古道調理加工施設完成
- ▼平成29年 3月14日 「急峻な地形と日本有数の多雨が生み出す尾鷲ヒノキ林業」が日本農業遺産に認定される
- ▼平成30年 3月17日 尾鷲第三保育園完成
- ▼平成30年 7月26日 市長に加藤千速氏が当選
- ▼平成30年 3月19日 尾鷲第四保育園完成
- ▼平成30年 12月19日 中部電力尾鷲三田火力発電所が廃止、その後「おわせSEAModel構想」が誕生
- ▼平成31年 3月23日 三木小学校・三木里小学校が閉校し、賀田小学校に統合
- ▼令和2年 新型コロナウイルス感染症の影響により、「おわせ港まつり」「おわせ海・山ツーデーウォーク」全国尾鷲節コンクール」などの主要イベントが史上初めて揃って中止となる
- ▼令和3年 3月3日 市役所本庁舎の耐震工事が完了
- ▼令和3年 8月29日 熊野尾鷲道路(尾鷲北IC)尾鷲南IC)完成
- ▼令和4年 3月1日 「尾鷲市ゼロカーボンシティ宣言」を表明
- ▼令和4年 4月4日 幼保連携型こども園「ひのきっここども園」が開園
- ▼令和5年 2月1日 尾鷲小学校に給食センターが完成(市内全小中学校への給食導入が実現)
- ▼令和6年 1月20日 「尾鷲市オーガニックビレッジ宣言」を表明

# 1

## 安心して

## 生み・育て・

## 暮らせるま

## ちを創る

子育て・健康・医療・  
救急・福祉・社会保障

尾鷲市で未来に希望を持ちながら安心して子どもを生み育てることができるよう、子育て世帯の負担軽減・支援の充実や、子どもが安心してのびのびと育つことができる環境の整備、子育てへのニーズの対応を行い、子育てをしたいと思うまちづくりを図ります。

また、高齢者や心身にハンデを持つ人にとっても、生涯にわたり健やかに心豊かな生活ができるよう、ライフステージやその人の水準に合わせた健康づくりや保健・福祉事業を実施して健康寿命の延伸を図るとともに、尾鷲総合病院を地域医療の核とし、充実した医療体制づくりに努めます。

全ての人々が安心して生活できる尾鷲市とするため、これらの取り組みを市民、地域、団体、事業者、行政などの連携により進め、全ての人々で支え合う、地域包括ケア、セーフティネットの構築・充実を図ります。



### 子育て支援センター ちびっこひろば

子育て中の親子が気軽に交流でき、子育ての不安や悩みの相談、情報交換が行える場所です。

### 子育て支援事業





## 子育て HAPPY DAY

地域が一体となって子どもを見守り・育てる「子育てしやすい地域づくり」のため、市の自然や文化にふれるさまざまな体験講座を実施しています。



**健康 HappyDay**  
市民の皆さんに健康習慣を実践していただくため、食や運動の啓発イベントを開催しています。



## 健康づくり推進員

地域の健康づくりリーダーとして、健康づくりの普及啓発活動などを行っています。



## 尾鷲総合病院

東紀州地域の中核病院として地域ニーズに合った病院機能の充実を図っています。



# 安全で

# 快適に暮ら

# せるまちを

# 創る

基盤整備・公共交通・自然環境・  
生活環境・防犯・交通安全・防災

今後、高齢化による通院

弱者や交通弱者の増加が危惧される尾鷲市においても、全ての人が快適に日々の暮らしを過ごすことができるように、公共交通の維持はもちろん、ニーズに合わせた運行による利便性向上など、日々の生活に必要な環境の充実を図ります。

また、水道をはじめとした生活インフラについては、人口減少を受け、持続的な運営に向けた見直しを行いつつ、市民

ニーズへの対応策を検討します。

南海トラフ地震などによる被害が心配される尾鷲市では、全ての市民が安心して生活を営めるように、避難所や防災備蓄等の管理・充実、避難路の確保・整備などを行い、災害に備えたまちづくりを行います。

これら安全・安心の生活環境をハード面の整備だけで補うことには限界があり、自助・共助の考え方のもと、地域ぐるみで防災訓練・教育や防犯体制の強化、交通安全意識の向上を図り、市民とともに安全・安心な尾鷲を創り上げていきます。



## ふれあいバス

市民のバスとして、買い物や通院など、生活に重要な移動手段となっています。

## ちびっこ防災フェア



## 自主防災

災害についての知識を得て、協力していくことの大切さを知ってもらうために、各地域に合わせた避難訓練を行っています。





### 防災訓練

市民参加型の市民総ぐるみの防災訓練や関係機関が一体となり合同で開催する防災訓練を実施。連携の強化や実働訓練を通じて、防災に関する意識・知識・行動力を高め、総合防災力の向上を図ります。



### 近畿自動車道・熊野尾鷲道路

尾鷲北ICから尾鷲南ICまでの間が開通し、防災、医療、産業を支える命の道として安全で安心な通行が確保され、地域振興や観光にも重要な役割を果たしています。



### 水生生物による水質調査

環境学習の一環として、川の中にどのような生きものがいるかを調べることによって、川の水の綺麗さや汚れ具合を評価します。



### クリーンセンター

クリーンセンターは、尾鷲市のし尿・浄化槽汚泥の処理・再資源化を図ることで、美しい自然環境を守り、快適で衛生的な暮らしを維持しています。

# 3

## 人々が集い、

## 活力溢れる

## まちを創る



農業・林業・水産・商工・  
観光・プロモーション・  
移住・定住・関係人口

尾鷲市において第一次産業は産業の基幹を成します。農林業においては、近年問題となる耕作放棄地や放置林等の整備・活用の検討、水産業においては、水産資源の保護・増大を図ることによる資源の磨き上げを行い、ともに就業体験などを通じて接する機会を増やすことで、最大の魅力である豊かな自然環境を活かした第一次産業の再生と振興、所得向上による働く魅力の向上と担い手の確保を図ります。

観光においては、最大の魅力である自然環境を活かしたレジャー・アクティビティなどの、自然環境と触れ合う場・機会の拡充・創出を図るとともに、世界遺産熊野古道等の歴史遺産の活用や各種イベント開催・PRを通じて誘客を図ります。

また、これら魅力の発信、来訪・暮らしの受入態勢の構築を尾鷲市の全ての人の手により行うことで市外の尾鷲ファン創出を図り、単なる観光を越えた地域をとくに担う人材である「関係人口」の増加と、その繋がりをきっかけとした移住・定住に繋がっていきます。



### 尾鷲ヒノキ

尾鷲ヒノキは、雨が多い地域で、かつ地形が急峻であるために、年輪が緻密で耐久性にも優れ、つやのよい良質な木材です。



### イタダキ市

尾鷲自慢の鮮魚や干物に始まり、和菓子や惣菜、お野菜など魅力的な商品が勢揃いしています。

### 尾鷲の漁業

紀伊半島の南部、熊野灘沿岸に位置する尾鷲市では、黒潮の流れる豊かな海を背景に漁業が盛んに行われています。





### おわせ港まつり

尾鷲の夏を彩る一大イベント。夜には海上花火大会が行われるなど、会場は一日中熱気に包まれます。



### オハイ（大配）

九鬼町にある絶景スポット。エメラルドグリーンの海は人々を魅了し、多くの人が訪れます。

### アクアステーション

海洋深層水原水のほか、淡水、濃縮水、カルマグ水、高ナトリウム水の海洋深層水を処理した水を供給しています。体験学習室兼セミナー室および中庭タッチプールでは各種イベントを実施しています。



### 移住相談会

人口減少対策として定住移住を促進するために、都市部に出向き移住相談会を行っています。移住を考えている人が、その第一歩を踏み出すお手伝いをしています。

# 郷土を愛し、

# 学び・伝える

# まちを創る



学校教育・生涯教育・  
スポーツ・郷土文化・歴史・  
国際交流・多文化共生

目まぐるしく変化する社会の中で、次代を担う子どもたちが社会の変化に対応し、自身の人生を豊かにできるよう、確かな学力の育成やICT教育、国際交流などの時代のニーズに合わせた教育を充実させ、一人ひとりの個性を大切にした教育を推進します。加えて、豊かな自然や郷土文化・歴史を活かした「尾鷲らしさ」を感じる教育を積極的に取り入れることで郷土愛を醸成し、尾鷲市の文化・歴史を後世に伝え、地域の次代を担う人材の育成を図ります。

また、子どもたちだけではなく、生涯にわたり生き生きと人生を豊かにする学びを続けることができるように、生涯学習の充実・推進や、「おわせSEAモデル構想」で計画するスポーツ振興ゾーンにおける、誰もがのびのびと運動ができるスポーツ施設の整備、運動イベントの開催などを推進し、市民誰もが尾鷲での人生を豊かにすることができるよう、学び・活動の環境・機会づくりを図ります。



## ふるさと教育支援事業

子どもたちが、ふるさと尾鷲に愛着を持ち続けるため、地域の人々の考え方や生き方から学んだり、自然や景観、歴史、伝統文化の体験など、郷土愛を育む事業を実施しています。

## 英語交流会の様子

輪内中学校では英検4級以上取得を目指した取り組みや、台湾高雄市の小学校との英語教育に関する協定を結ぶなど、英語教育の充実を実施しています。





### 市民文化展

多くの人に本市の文化・芸術へ触れてもらうため、尾鷲市文化協会と教育委員会の主催で、毎年「市民文化展」を開催しています。市民の力作が一同に会した、市内最大規模の文化展となっています。



### 市民向け講座

毎年中央公民館では市民対象としたさまざまな講座を開講しています。近年では、市内外から講師をお招きして、地域の歴史文化を学ぶ講座も開講しています。



### 尾鷲スポーツ少年団

スポーツ活動を通じて青少年の体力増強と技術の向上を図ることを目的として、市内9団(陸上・野球・ミニバスケットボール・バドミントン・剣道・柔道・ソフトボール・卓球・ソフトテニス)を設立して活動しています。



### 国際交流協会

各国の料理教室や風習体験等、さまざまなイベントを通じて、外国の方々との交流を深め、国際感覚豊かな人材の育成とともに、地域の活性化につなげています。



### いきいき尾鷲っ子

放課後などにおける子どもたちの安全で健やかな居場所づくりのため、市の自然や文化にふれるさまざまな体験講座を実施します。

碧い空

青い海

さあ、次は尾鷲のどこを旅しよう

緑豊かな里山



行政情報を各種SNSでも  
発信しています。ぜひフォ  
ロー・登録してください！

### 三重県尾鷲市 市勢要覧 2024

〒519-3696 三重県尾鷲市中央町10番43号

TEL : 0597-23-8132

<https://www.city.owase.lg.jp>

発行 / 三重県尾鷲市 発行日 / 令和6年6月

尾鷲市  
ホームページ



尾鷲市  
LINE



尾鷲市  
X



尾鷲市  
Instagram

